

令和7年 夏（6月～8月）の天候の見通し
（5月20日発表の3か月予報）

鳥取地方气象台
令和7年6月6日

6月～8月の天候見通し

中国地方（山口県を除く） 3か月予報（06月～08月）

2025年05月20日14時00分 広島地方気象台 発表

06月～08月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。

気温、降水量の各階級の確率（%）

気温	中国地方	06月～08月	10	30	60
		06月	10	30	60
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50
降水量	中国地方	06月～08月	20	40	40
		06月	30	30	40
		07月	30	30	40
		08月	30	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回発表予定等

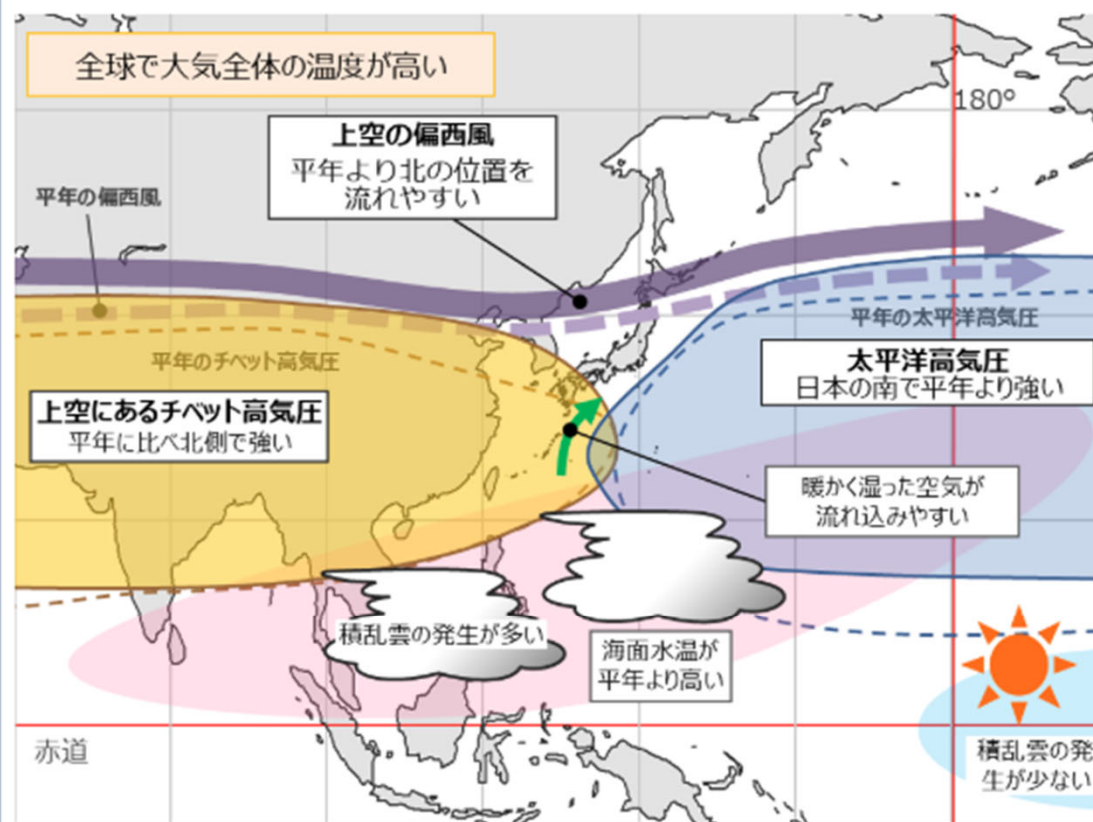
次回は2025年06月24日(火)14時00分に発表予定

なお、6月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。 また、暖候期予報として発表していたこの夏（6～8月）の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

予想される海洋と大気の特徴

中国地方3か月予報（令和7年5月20日発表）の解説資料より

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いでしょう。このため、積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本の南で西への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。また、本州付近を中心に、梅雨前線の活動が活発となる時期があるでしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

[中国地方の梅雨]

平 年	入 り	6月6日ごろ	明 け	7月19日ごろ
令和6年	入 り	6月20日ごろ	明 け	7月21日ごろ

注) 梅雨入り・明けは、一般に数日程度の幅を持つ現象（〇〇日ごろと表現）。

梅雨入り・明け（速報値） https://www.data.jma.go.jp/cpd/baiu/sokuhou_baiu.html